

リモートアクセス型オンサイト利用の試行運用 に当たっての基本的な考え方（案）

政策統括官（統計基準担当）

1 目的

中央データ管理施設と SINET 環境で接続したオンサイト施設において、試行運用版のガイドライン・各種基準の下、調査票情報を用いた研究利用を行い、課題の洗い出しを行うことにより、本格運用に向けた制度面、技術面のブラッシュアップを図る。

2 内容

(1) 参加拠点候補

情報・システム研究機構、一橋大学、神戸大学 等

(2) 中央データ管理施設、運用管理施設

(独) 統計センターが整備・運営

(3) 開始時期

平成 29 年 1 月以降、準備の整った拠点から順次開始

(4) 提供する調査票情報

総務省統計局の実施する統計調査のうち、統計法第 33 条第 2 号の規定に基づく調査票情報の提供実績が多いもの（全国消費実態調査等）を中心に選定

(5) 費用

- ・オンサイト施設管理者側で、利用者 P C、ネットワークカメラ関係、ルータ等の初期費用と、回線利用料等の運用費用を負担
- ・施設利用者側の負担は当面なし（本格運用に向け、ソフトウェア・保存領域確保等の実費負担について検討）

3 今後の予定

平成 30 年 1 月目途で本格運用開始（開始時 10 拠点程度。段階的に拡大）